

国際原子力人材育成事業

Human Resource Development International atomic energy

Eight years have passed since the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident.

In the future, human resource development for radioactive waste disposal including decontamination and removal will be important.

Despite, there are few students who want to work for a nuclear related company.

In this project, we will develop human resources from an international perspective for students attending higher education institutions in Fukushima prefecture from 2018 to 2021. And we will work to deepen their understanding of nuclear related companies.

1. 概要

福島第一原子力発電所事故の前までは主に高専生だけを対象としたフロントエンド事業に関する原子力人材育成を実施してきましたが、事故から8年が経過したこれからは除染除去物を含めた放射性廃棄物処理処分などのバックエンド事業に関する人材育成が重要になってくると考えています。さらに、原子力分野へ就職する学生の多くは電力会社や研究所を志望し、幅広い原子力分野を支えている原子力関連企業へ就職を志望する学生は数少ない状況です。そこで、本事業では2018～2021年度にかけて本校学生だけではなく、福島県内の高等教育機関に通う学生を対象として、国際的な視野を持って放射性廃棄物処理処分や原子力、放射線について科学的・技術的な面から議論できる人材を育成すると同時に、原子力関連企業への理解を深める取組を行います。

2. 主な事業内容

放射性廃棄物処理処分や国際的なエネルギー問題解決に貢献できる人材を育成するために以下の取り組みを行います。

- ①原子力や放射線に関する授業のe-learning化
- ②東海村研修（原子力関連企業での研修）
- ③六ヶ所村研修（再処理、放射性廃棄物処理処分に関する研修）
- ④JAEA楳葉研修（緊急時遠隔機材対応研修）
- ⑤原子力海外研修1（イギリス研修）
- ⑥原子力海外研修2（カナダ研修）
- ⑦学園祭を活用した原子力（廃炉）・放射線に関する理解促進活動
- ⑧SNSを活用した学生からの原子力（廃炉）に関する情報発信
- ⑨学生による国際会議を通じた福島の現状発信
- ⑩原子力産業協会との連携によるキャリアパスセミナー



Ontario Power Generation,Western Waste Management Facility(WWMF) 見学の様子